

市立病院からのお知らせ



市立病院は昨年で 開設50周年を迎えました

市立病院は、秩父地域の中核病院として昭和41年に開設され、昨年で50周年を迎えました。今後も、秩父地域の保健・医療・介護・福祉の関係機関と密な連携を図り、1市4町の協力を得て、健康増進・高度医療の提供を目指します。



市立病院

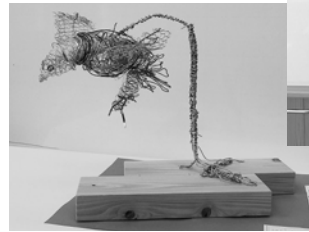
また病院の体制づくりを進め、次世代にも通用する診療体制の構築および地域医療・保健体制の整備を図り、病院の理念『安心・安全・満足を地域住民の皆さんに』の達成に努めます。

これからも、市民の健康上の問題や不安を和らげ、さらに、住み慣れた秩父地域で安心した暮らしが送れるように、信頼される医療機関として皆さんをサポートしていきます。

☎市立病院管理課 ☎23-0611

尾田 時小 高野^{わたる} 渉さん(5年)の作品が県美術展で上位入賞

埼玉県小・中学校児童生徒美術展第9回中央展覧会において、埼玉県議会議長賞を受賞しました。この美術展に出品された作品のうち、特に優れた約200点の中から高野さんの作品が選ばれました。



作品名 「ハクトウワシ
え物めがけて一直線」



東日本大震災義援金・平成28年熊本地震災害義援金

東日本大震災義援金および平成28年熊本地震災害義援金へ多くの温かいご支援をお寄せいただきありがとうございます。

- 東日本大震災義援金(3月22日現在) 52,100,590円
- 平成28年熊本地震災害義援金(3月22日現在) 2,520,798円

お預かりした義援金は、日本赤十字社埼玉県支部へ送金し、義援金配分委員会を通じて全額被災された方々のもとへ届けられます。義援金をお寄せいただきました個人・団体の皆さまに、心から御礼申し上げます。

※義援金の受付期間は平成30年3月31日まで延長されました。

☎社会福祉課 ☎25-5204



この調査では、毎回、健康や福祉に関する意見として、産科の充実や市立病院への産科設置を求める意見が多くなっており、私も医師出身の市長として、同じように大変危機感を持っています。全国的にも産科医不足が深刻化している、産科医院が市町村内に一か所もない自治体も増えてきました。こうしたまちでは、自分の生まれ育った場所での出産ができない状況になってしまいました。し

今年も市民満足度調査にご協力いただき、ありがとうございます。この調査では、毎回、健康や福祉に関する意見として、産科の充実や市立病院への産科設置を求める意見が多くなっており、私も医師出身の市長として、同じように大変危機感を持っています。全国的にも産科医不足が深刻化している、産科医院が市町村内に一か所もない自治体も増えてきました。こうしたまちでは、自分の生まれ育った場所での出産ができない状況になってしまいました。し

市長 久喜 邦康



「和を以って
貴しと為す」

お気軽にお越しください！ ふらっと市長室

- 4月14日(金)
9:00~10:00 吉田総合支所
11:00~11:30 本庁舎1階
 - 5月17日(水)
9:00~10:00 荒川総合支所
11:00~11:30 本庁舎1階
- ※日程は変更となる場合があります。
☎秘書広報課 ☎22-2505

かしながら、秩父市では1診療所が地域の産科医療の維持のため日々奮闘されている状況です。私は、こうした状況に対応するため、複数の病院に出向き、産科医師の派遣や就業を交渉し、医師出身の市長であることの強みを生かして医師会との連携強化を進めています。そして、奮闘されている産科診療所に埼玉医科大学病院からの医師派遣や市立病院から助産師を派遣する事業を「ちちぶ定住自立圏」ちちぶ医療協議会の支援事業として実施し、秩父地域の産科医療の維持に努めています。市報3月号8ページでもお知らせしたとおり、この診療所では、平成28年(1月~12月)で522件の普通分娩の受け入れがあり、このうち秩父圏域外住所者の受け入れも76件までとなりました。秩父で里帰り出産も可能となったわけです。引き続き、産科医療の充実に努め、市民の皆さんのご意見にある市立病院の産科開設に向けても努力してまいります。